

修学旅行新聞

発行所 財団法人協会
全国修学旅行研究会
発行人 前田 寛
〒101 東京都千代田区
神田錦町1-17-1 (NK第一ビル) ☎03 (5259) 0631
振替 00160-7-36337

様変わりする修学旅行 班別行動が主流に

——集団行動も大切——

平成六年度中学校の修学旅行で、87%の学校が自主見学(班別行動・体験学習)を積極的にとり入れていることが明らかになった。財団法人全国修学旅行研究会は、平成六年度の全国中学校修学旅行の実態調査を実施し、このほどその調査結果がまとまった。調査対象は全国一一、二〇〇校の20%に当たる二、二五〇校の公立中学校で、回答率63%に上った。この調査集計である。主な調査内容は、項目で

87%が自主見学を実施

中学校の平成6年度調査から

紹介すると、①修学旅行費の学校別格差のなさを修学旅行の目的、ねらいとして、②修学旅行の問題点及び今後のあり方③班別行動の実態④体験学習の内容、実施例⑤宿泊地・見学箇所の一覧等であり、今後の修学旅行実施に当たって参考になる結果が出ている。なお、詳細については次号以下で紹介していく。



神戸復興 3月20日から中突堤使用再開 (関西汽船「あさか」が接岸 4面に関連記事)



この度、私は第三十六回評議員会で故山本種一先生の後を継ぐ理事長に就任いたしました。自ら全修協を設立し理事長としてその運営に一身を投じて、数々の業績を挙げた先生の後だけに、私にとってはまさに大任であり重荷であります。この使命を果たすためにまず各支部長、評議員等の役員の皆様をはじめ各修学旅行委員会や地域の研究に携わる関係の皆様のご支援・協力をお願いいたします。

全修協は「修学旅行は学習を社会に移し、生活指導及び集団訓練の好機会を、教育計画の一環として学校教育上極めて重要な行事である」との趣旨の下、このことを目的として発足したことは周知の通りであります。以来今日まで四十年間、全修協は所期の目標に向かって活動を展開し、数々の成果を挙げってきました。

安全性の確保、教育性の充実及び経済性の適正化を基本とし、当時の国鉄、近鉄、関西汽船等に専用便の確保、また

一方、協会自体の調査をはじめ必要資料の整備、充実や、教師のための研修旅行の実施等と相まって、修学旅行に対する認識と評価が改められました。一九五五年ころから経済力能の風潮が高まり、教育界もその影響を受け修学旅行も業者任せ、学校は付添いのよすが形に、単なる一行事化した傾向が生

科学的研究を基に修学旅行を企画運営しその改善と教育効果の向上を図るため、一九五七年十一月財団法人として結成された。教育を愛し友愛と信義をもととして団結し、公益法人として児童生徒の幸福のために、修学旅行の改善向上を図り、ひいては我が国の教育向上に寄与する機運を盛りあげました。

全員参加の基本となる国費助成制度の創設、各地区に修学旅行委員会を組織して自らの管理体制の確立をすすめてまいりました。また、修学旅行のあり方の追求による教育の実践を通しての研究会をはじめ、セミナー等の理論研究活動を展開して、広く教育現場の修学旅行改善上の機運を盛りあげました。

じましたが、やがて教育活動として重要視され、学習指導要領に教育活動として位置づけられました。以来、教育課程の改訂のたびに教育活動としてその重要性を定着させてきたことは、四十年にわたる全修協の運動の成果といっても過言ではありません。しかし、これはあくまで全修協が提唱した修学旅行の基本的あり方が定着したということであり、不参加児童生徒の問題、主体的学習活動の進め方、体験学習など具体的な課題が山積し、そのことが「二十一世紀を展望する修学旅行の創造を目指して」という遺志となつたものと思ひます。

私は理事長に当たり、この山本先生の遺志を受け、その発展を使命とすることを決意いたしました。冒頭に申しましたように、関係の皆様の特段のご支援・協力を重ねてお願い申し上げます。あける次第でございます。

生徒向け京会席など

京都で今年も献立講習

修学旅行シーズンを迎え、恒例の京都府旅館環境衛生同業組合・団体旅館部主催による「献立講習会」が、三月六日午後、京都市役所前の本能寺文化会館で開催された。修学旅行受入れ旅館の食事の改善や接客の向上を目的として昭和五十二年に始められたもので、今年も二十回目を迎える。

今年も食品会社を中心に二十数社が参加したが、体験学習の時代の波に添って、陶器の絵付けや京友禅の漆法の体験室も設けられ、参加者に喜ばれた。遠藤俊雄部長は「生徒さんみんなに、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく飲食してもらいたいことを心掛けています。高校では航空機の許可などで、京都への来訪が減少しているが、部会員一同努力を続け、安全や食品衛生面の十分な注意を払っている。修学旅行生には十分喜んでいただけると思う。世界文化遺産も学ぶことができ、受入れ態勢も整った京都にもっと来て欲しい。」

理事長以下役員は次のとおり。理事長以下役員は次のとおり。理事長以下役員は次のとおり。

理事長 駒井徳左衛門
副理事長 谷合氏(日本大学卒。東京公立中学校教諭・校長を歴任、全日本中学校長会会長、青梅市教育委員会教育長等を務めた。)

近畿日本鉄道代表取締役社長、現在近畿日本ツーリスト代表取締役社長。林田氏は東京教育大学卒。大阪府立体育館長、府立高等学校長等を歴任、現在摂南大学教授、全修協大阪支部長。

谷合氏は日本大学卒。東京公立中学校教諭・校長を歴任、全日本中学校長会会長、青梅市教育委員会教育長等を務めた。

安部氏は東京大学卒。元近畿日本鉄道代表取締役社長、現在近畿日本ツーリスト代表取締役社長。

林田氏は東京教育大学卒。大阪府立体育館長、府立高等学校長等を歴任、現在摂南大学教授、全修協大阪支部長。

谷合氏は日本大学卒。東京公立中学校教諭・校長を歴任、全日本中学校長会会長、青梅市教育委員会教育長等を務めた。

近畿日本鉄道代表取締役社長、現在近畿日本ツーリスト代表取締役社長。

林田氏は東京教育大学卒。大阪府立体育館長、府立高等学校長等を歴任、現在摂南大学教授、全修協大阪支部長。

谷合氏は日本大学卒。東京公立中学校教諭・校長を歴任、全日本中学校長会会長、青梅市教育委員会教育長等を務めた。

近畿日本鉄道代表取締役社長、現在近畿日本ツーリスト代表取締役社長。

林田氏は東京教育大学卒。大阪府立体育館長、府立高等学校長等を歴任、現在摂南大学教授、全修協大阪支部長。

谷合氏は日本大学卒。東京公立中学校教諭・校長を歴任、全日本中学校長会会長、青梅市教育委員会教育長等を務めた。

近畿日本鉄道代表取締役社長、現在近畿日本ツーリスト代表取締役社長。

林田氏は東京教育大学卒。大阪府立体育館長、府立高等学校長等を歴任、現在摂南大学教授、全修協大阪支部長。

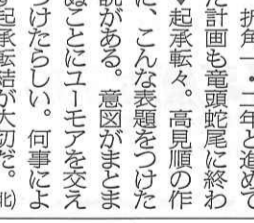
谷合氏は日本大学卒。東京公立中学校教諭・校長を歴任、全日本中学校長会会長、青梅市教育委員会教育長等を務めた。

近畿日本鉄道代表取締役社長、現在近畿日本ツーリスト代表取締役社長。

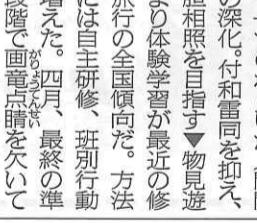
林田氏は東京教育大学卒。大阪府立体育館長、府立高等学校長等を歴任、現在摂南大学教授、全修協大阪支部長。

谷合氏は日本大学卒。東京公立中学校教諭・校長を歴任、全日本中学校長会会長、青梅市教育委員会教育長等を務めた。

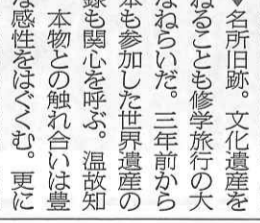
近畿日本鉄道代表取締役社長、現在近畿日本ツーリスト代表取締役社長。



新任理事の谷合氏、安部氏、林田氏(右から)



(3面に関連記事)



(3面に関連記事)

信頼される旅づくり

心にあざやかな思い出を
ツリーリストの
修学旅行。

近畿日本ツリーリスト
運輸大臣登録一般旅行業第20号 (社)日本旅行業協会会員

楽しい修学旅行を、
より安心
より快適に
「学校旅行総合保険」
をおすすめします。

東京海上火災保険株式会社
本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-3212-6211(代表)

修学旅行生の作文

〈心に残る修学旅行〉

彼の笑顔から学んだこと

大阪、京都奈良への修学旅行

新潟県糸魚川市立糸魚川中学校

万治 淳史

三月十二日、この日は糸魚川東中の二年生にとって待ちに待った修学旅行の日だった。学区内にある駅に生徒、引率教師、添乗員が集まり出発式が行われた。僕は学校長であると同時に旅行委員長でもあった。

期に入り、ようやく学年がまとまりつつあったが、場面によっては協力体制がとりにくいという点に僕にとっての心配の種だった。次に前年まで三年に入ってから行われていた旅行が早く実施されることになったため、準備期間が非常に短くなったという点。三つ目に僕と同じ班に障書を持った生徒がいるという点。今までの恒例行事ならば担任が必ずついていてくれるのだが、今回の旅行では僕たちが彼の世話をする必要になった。なぜなら

彼は今年で普通校から養護学校に転校するからだ。要するに、彼にとっても僕たちにとってもこの旅行は最後の思い出作りになるということだ。だから、彼の世話をすべて仲間の手で行おうという僕たちの希望から先生方は一切手を出さないという条件にせざるを得なかった。しかし、いざ旅行先で彼の世話を見ることができたのか、といわれるのは、つきり言ってしまうと自信はあまりなかった。

旅行が近づくと、皆の集まりが高まり、まとまりができたため、僕が持つていたいくつかの不安は解消でき旅行にのぞめた。三月十五日、僕たちは特急サンダーバードに乗り、新大阪駅に着いた。そして

作りはもちろんできたが、同時に彼の本当の笑顔を見ることができた。

そして、その笑顔からおもいやりとは一体何なのかを学ぶことができた。

本当に最高の修学旅行ができて良かった。

◇糸魚川中旅行行程◇

3/15 梶屋敷-富山-新大阪-大阪-神戸学級別見学-京都泊

3/16 京都市内班別見学-京都泊

3/17 京都-近鉄奈良-法隆寺-奈良公園-奈良

1-京都-糸魚川-学校

笑顔を旅した三日間

総合学科という新しい学科の学校ができた。この学校は学習指導要領に定められた必修教科目以外はずべて生徒が自分で選択する。そのためいろいろな教科科目を開講する。そして安易な選択にならないために一年生から「産業社会と人間」という科目を全員に勉強させ、地域でいろいろな人と触れ合い体験をする。

また、生徒指導、進路指導など、ある部分を家庭と地域に返す、あるいは学校教育に参加し、一部を担ってもらう。それによって「保護者の方の責任を軽減し、学校と家庭と地域の教育が連携し、公共交通安全意識を高める」という目的がある。一人一人の学習の中で実践するものが問われているのではないかと感じる。

役割体験というのは、例えば家庭で、子供が日曜日

に部屋や玄関を掃除するのは自分の役割として、それをキチンとやり遂げてお母さんに褒められる。その中で充実感、達成感を味わう。

そんなことの積み重ねの中で、自分がある集団に属し

たとき、自分の位置、自分が何をやらなければならないかがわかって、自分なりに考え、判断し、行動する

という自主性、自発性があるように思う。

そうすると、小学生や中学生、あるいはそれ以前からの地域での活動におけるいろいろな役割体験が大切だと思ふ。それができていない子供については、そういったことを意図的、計画的に積み重ねて行く中で、自主性、自発性を育てていくことが大切だが、それには体験学習が大いに役に立つわけだ。その集大成としての修学旅行が、今日発表があった中学生のようには立派にできようようになるのではないかと感じる。

(おわり)

修学旅行における体験学習(下)

文部省初等中等教育局教科調査官 鹿嶋 研之助

あるは自分についている

きないものか、そのことが

今学校教育の大きな課題として問われているのではないかと感じる。

七、修学旅行における体験学習

教育のねらいに沿って実施することが非常に大切だ

が、今日の発表を聞いていた取り組みを核に、自ら考え、行動し、責任をもつ

徒が入学したときから、どこまでできる主体的な生徒

を自分で利用して一日回って

きないものか、そのことが今学校教育の大きな課題として問われているのではないかと感じる。

八、自主性と役割体験

最後に、自主性とか、自発性をどう育てていくか。主体性という点にもなるが、それらはどのようにすれば育成することができ



鹿嶋研之助氏

箱根高原ホテル
豊かな自然が息づく湖尻高原の中心。箱根高原ホテルは、深い緑の中に700名収容の大ホールや、中小の研修室など、数々の施設が整っています。その他体験コースもいろいろ。心にとこる思い出づくり。感動づくりに素晴らしい環境です。
箱根高原ホテル
〒250-05 神奈川県足柄下郡箱根町湖尻
☎(0460)4-8595代 FAX.(0460)4-9488

修学旅行/林間学校/スキー体験学習
奥日光の自然と仲間たちとの語らい.....
夏は林間学校、冬はスキー
自然探勝の基地として日光国立公園内にたつ当ホテルをご利用ください
鉄筋3階建/小学生550名/中学生550名/高校生450名収容/大浴場あり
奥日光高原ホテル
〒321-16 栃木県日光市湯元温泉
TEL. 0288(62)2121(代表)

修学旅行の楽しいお食事
箱根彫刻の森美術館内 レストランコンポート
◇500名様迄、ご利用いただけます。
◇当レストランは、彫刻の森美術館内の施設ですので、入館を必要とします。
〒250-04
神奈川県足柄下郡箱根町二の平1121
☎0460(2)2221(予約センター)

東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。
ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL(03)3585-1046(代表)
東京 コマ旅行会館